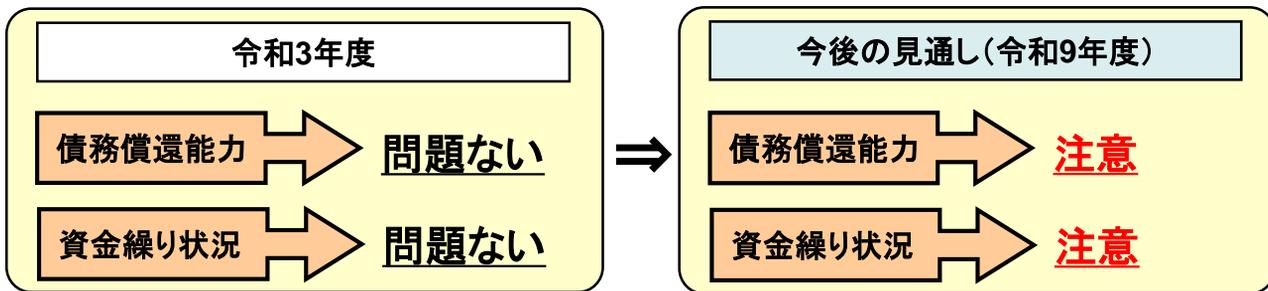


羽島市の財務状況把握結果(要旨)

総合評価

(R5.2.3 財務省 東海財務局 岐阜財務事務所)



財務指標

指標	① 実質債務月収倍率 ($\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収入} \div 12}$)	② 債務償還可能年数 ($\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収支}}$)	③ 行政経常収支率 ($\frac{\text{行政経常収支}}{\text{行政経常収入}}$)	④ 積立金等月収倍率 ($\frac{\text{積立金等残高}}{\text{行政経常収入} \div 12}$)
問題なし	7.8月 ↓ 10.1月	5.2年	12.4%	3.2月
やや注意	18.0月	15.0年	10.0%	3.0月
注意	24.0月	29.4年	2.8%	2.0月
			0.0%	1.0月

留意点

債務償還能力(①、②、③)

資金繰り状況(②、③、④)

貴市は、これまで繊維のまちとして栄え、東海道新幹線岐阜羽島駅と名神高速道路岐阜羽島インターチェンジを擁する交通の要衝として発展してきた。近年は中核市に隣接しているといった地理的要因から、ベッドタウンの側面も有しており、新幹線駅やインター周辺では、土地区画整理事業及び企業誘致が進んでいる。

財政面について、収入面では、企業誘致等により固定資産税は堅調に推移している。一方、支出面では、ごみ処理施設の稼働停止に伴う可燃ごみの県外搬出・処理費用等の増加により物件費が高止まりしているほか、人件費や扶助費についても増加傾向にある。また、平成28年度以降、新庁舎建設事業等の大規模事業が続き、地方債の借入れや基金の取崩しが進んだことから、実質債務は増加傾向にある。

こうした状況の中、貴市では事業の「選択と集中」により、限られた財源の有効活用を図るとともに、令和2年度より財政の「安定化対策」として、財政調整基金残高の一定水準確保に向けた歳出削減、建設地方債発行額の抑制など安定した市政運営に向けての対策を進めているところである。また、財政の「安定化対策」を着実に実施するため、予算編成方針の中で中期財政見通しを作成するとともに、基本的な考え方と留意事項を明示することで、事業担当部局との認識の共有を図っている。

今後、人口減少・少子高齢化による税収減や社会保障費の増加、公共施設等の老朽化に伴う維持・更新費用の増加等により厳しい財政運営が見込まれる中、「次期ごみ処理施設の建設」「市民病院の維持・経営改善」などの課題への対応も必要となっており、今後の見通しにおける債務償還能力及び資金繰り状況は注意すべき水準になることが想定される。

貴市においては、引き続き財政の「安定化対策」を進めるとともに、山積する課題について着実に対処し、将来世代への負担を残さない市政運営の実現に努められたい。

財務指標の経年推移

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	※平均値は、いずれもR2年度		
						類似団体 平均値	全国 平均値	(参考) 岐阜県 平均値
①実質債務月収倍率	7.5月	7.4月	8.4月	8.8月	7.8月	9.0月	7.9月	5.2月
②債務償還可能年数	11.2年	11.4年	10.1年	10.4年	5.2年	8.2年	6.7年	4.0年
③行政経常収支率	5.5%	5.4%	6.8%	7.0%	12.4%	10.4%	12.0%	13.1%
④積立金等月収倍率	4.1月	3.7月	3.2月	2.9月	3.2月	4.4月	7.0月	7.0月